土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　ダム　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.3	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内(熊野川支川1)	北緯	34° 21’ 09.6763″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 7月13日～ 令和3年 7月19日	東経	132° 35’ 00.2022″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 285.79m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	11.45m	地盤勾配	32° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型
				エンジン	ヤンマー　NFD-13EK型
				ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	283.99	1.80		礫混り砂質土		灰褐	rd2		表土及び崩積土 ・最上位は腐植混じる暗褐の腐葉土 ・φ20-50mm程度の中-粗礫、及びクサリレキが混入 ・基質は粒径幅広く不均一、φ10mm程度以下の細礫及び鉱物片を含み細粒分やや優勢			8	1.15	2	3	3	8/300						
2													1.45											
3												10	2.15	3	3	4	10/300							
4													2.45											
5												10	3.15	3	3	4	10/300							
6													3.45											
7										7/16 4.35		14	4.15	4	4	6	14/300							7/15
8													4.45											
9												13	5.15	5/120	3/80	5	13/300							
10													5.45											
11	274.34	11.45		花崗閃緑岩		灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩風化土 ・風化変質が進行して岩質は著しく軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するが、長石類及び熱水脈で粘土化著しい ・採取試料は土柱状を呈し、岩芯まで軟質化し指圧で凹む ・岩級区分はDL-DM級(土砂)に分級される ・GL-9.70-9.90m間、岩片-礫状を呈すペグマタイトを挟む			16	6.15	4	5	7	16/300							
12													6.45											
13												25	7.15	7	8	10	25/300							
14													7.45											
15												26	8.15	7	9	10	26/300							
16													8.45											
17												24	9.15	7	8	9	24/300							
													9.45											
												36	10.15	10	12	14	36/300							
													10.45											
												40	11.15	11	13	16	40/300							7/16
													11.45											